



古代ロマンがある町に
静かに過ごせる宿。
ぜひ味わってほしいです。

Interview
てら さが まつ
寺やど・下り松
清吾 武憲さん



二百年以上続くお寺を引き継いで、町の未来を考えるようになった清吾さん。
農林漁家民宿の開業を思い立ちました。開業を実現し、いま、そしてこれからについてお話しいただきました。

現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

私どもの民宿は、この街と二百年過ごしてきた寺(専照寺)と自宅の一部を改装して2023年3月に開業しました。私自身はこの寺の4代目の住職となります。開業といっても、まだ知人しか利用しておりませんので、民宿としてはこれからという感じです。

宿泊いただける部屋は、和室8畳、和室6畳が各1室で、それぞれ2名を定員としておりますが、ご利用の際は現在、1団体最大4名さままで宿泊できます。その他に、洋間10畳の談話室、広い厨房などを自由にお使いいただけます。

ご利用料金はおひとりさま、素泊まり5,000円、一泊二食付き8,800円、朝食付き5,500円です(いずれも税込)。お食事に関しては、基本的にお客さまの自炊ですが、私どもの共同調理も可能です。民宿の周りには肥沃な土地を活かして農業されている方も多く、宿の近くにある『坂出ふれあい産直市』というマーケットには、地場で育った旬の野菜や精肉が豊富に揃っています。特にアスパラガスやブロッコリー、春にはタケノコが美味しいですね。ゆったりした庭でバーベキュー等も楽しめます。ご希望の場合は宿泊の予約時にお伝えいただければ対応させていただきます。

営業は通年を通しておこなっておりますが、お寺の業務もあり現在は平日のみ対応となっております。ですから、ご家族連れでというよりは、悠々自適世代の方に楽しんでいただきたい宿ですね。丁度このあたりはその昔『讃岐国府』があり、古代讃岐の政治の中心地だった場所だといわれています。遺跡や旧跡も点在し、古代ロマンをご趣味にされている方なら、時を忘れて探究に心遊ばせられる場所じゃないかと思えますね。



二百年の歴史を語るお寺に併設された宿

なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？

私は50代までサラリーマンをしていましたが10数年前に、父である先代の後を引き継ぎ拙寺の住職となりました。すると街に対する見え方が変わってきたのです。街全体の過疎化や高齢化が進む姿を見て「何とかしなくては」という危機感を覚えました。そんな時、同じような気持ちで街の活性化を目指し『農林漁家民宿』を立ち上げた方が近所にいらっしゃって、その人と熱い思いを交わしているうちに「よし、自分も立ち上がろう」と気持ちが動いたんです。それが民宿への第一歩だと思います。



「新たな出会いがとても楽しみ」と語る清吾さん

妻は「本当に大丈夫?」と、最初はいぶかしげな面持ちでしたが、最近は協力的に接してくれていますので心強く感じています(笑)。

開業するための経費について教えてください

お寺を営んでおりますので、施設自体は整っていたんです。それを民宿として利用するように改装しただけですから、開業経費はそんなに多くありませんでした。新たに必要なモノは火災報知器とお客さまが利用する備品くらいでしたので、10万円程度だと思いますね。これから、本格的にお客さまが来るようになれば、様々なニーズなどがあるでしょうから、今は経費を節約して今後のために蓄えています。

旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

当初『民泊』と呼ばれる宿の開業を目指して、様々な説明会に参加したのですが「開業までの流れ」を何度聞いても難しく、準備や申請などの手間も多いようで困惑していました。時間と費用が掛かるみたいだし「これは自分では無理かも知れない」と諦めかけた時、農林漁家民宿の制度を知り、香川県に問い合わせしてみたんです。すると色々サポートしていただけることがわかり、気持ちがふたたび前向きになりました。

実際、心配していた土地や建物の登記などの変更もなく、各種機関への申請なども農村整備課の方々から細やかにアドバイスいただけましたので、悩んでいた日々がウソのように解消し農林漁家民宿開業までの道程を着実に歩めました。

農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

開業はしましたが、実際にお客さまをお出迎えして、接客などを経験していません。だから実感としては、まだ期待と不安が半々という状態ですね。先ほどもお話しした、近所で農林漁家民宿を先に始められた方も「街にもっと食事できる場所があれば良いな」とか、「街の魅力を発信する方法」とか、様々な取り組みやプランを週に一度以上は語り合っています。その時間は楽しいですね。こんな有意義な時間が生まれたのも「民宿を開業したおかげかな」と、思っています。今は町興し実現のために、さらに仲間を増やしたいと考えているところです。



ゆったり寛げる室内。厨房も広くて使いやすい

宿泊に訪れたお客さまとどんな時間を過ごしたいですか。

自然と歴史に包まれた街で、ゆっくりと時間を過ごしていただきたいです。府中町は全国レベルのカヌー競技大会が開催できる施設もありますので、そんな場所にもご案内したいです。

私の個人的な思いとしては、新たな出会いをとても楽しみにしています。色んな方とお話をして、自分が知らないこと、思ってもみなかった考えを伺ってみたいんです。自分と同世代の方々が、これまでどのように暮らしてきたのか。そこにはきっと自分の未知の世界が広がっているはずですから。そんな話をお聞きして、自分自身のこれからは活かしていければ素敵だなと考えているんです。

あと『寺やど』と命名した通り、うちではお寺の生活を体験することが可能です。“朝のお勤め”を私とご一緒に、普段は実感できない心穏やかな1日の始まりを味わっていただきたいですね。味わうといえば、私が打つ『讃岐うどん』もありますよ。一緒に作ることもできますので、お互いに楽しい時間を過ごせばいいですね。

農林漁家民宿の魅力は何ですか？

やはり開業する際の手間が、県からの開業支援があるので民泊などに比べて難しいことでしょうか。また、農林漁家民宿には規制緩和が認められているところもあり、ハードルも低いような気がします。例えば、うちではお風呂は私たちとお客さまは共同利用となります。でも、お客さまがゆったりしたお風呂をお望みなら近隣にある天然温泉施設の『城山温泉』にご案内しようと思っています。その際の送迎なども、農林漁家民宿なら可能です。経営する側にとっても、お客さまにとっても融通が利くところが今の時代に合っているなと感じています。



「ここを町の活性化の拠点に」清吾さんの夢は尽きない



農林漁家民宿の今後の目標を教えてください

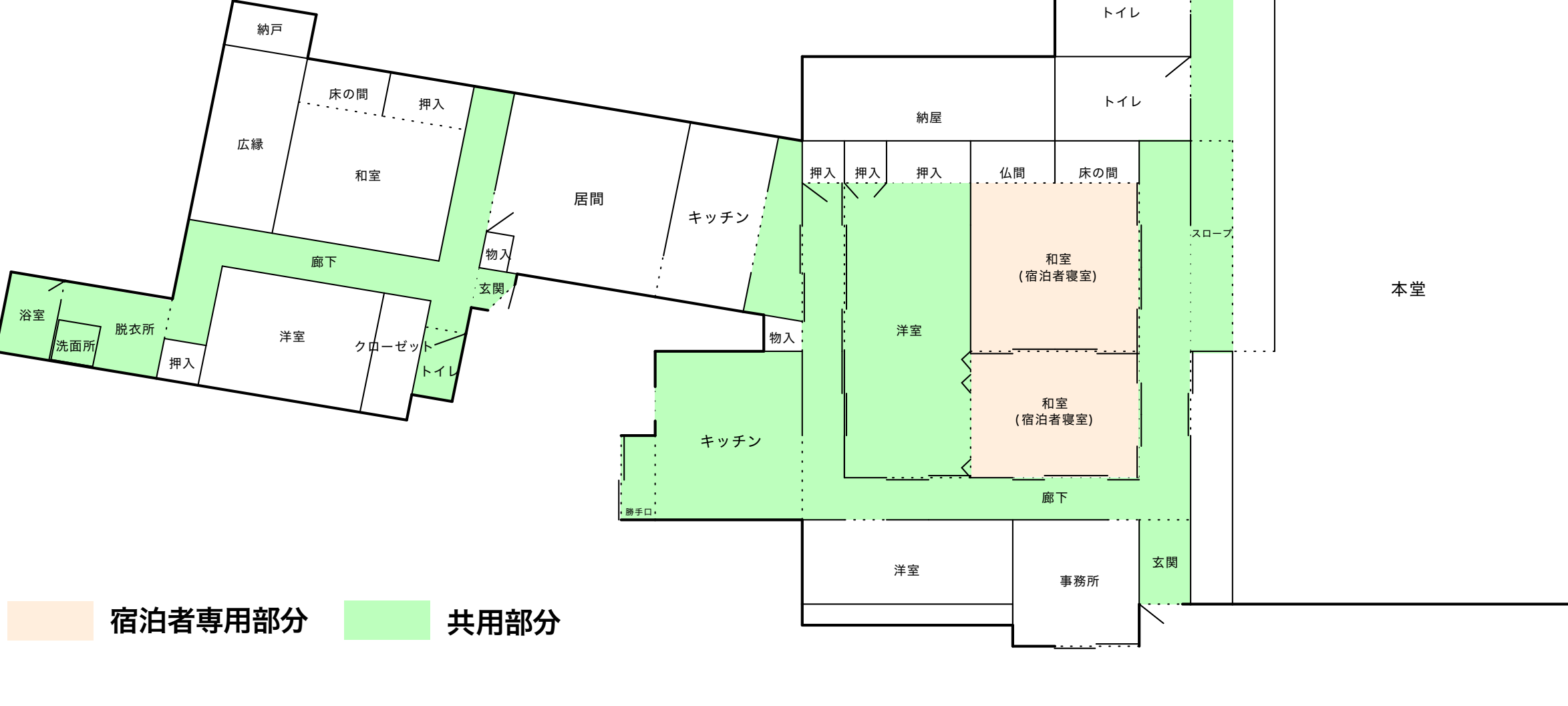
まだお客さまのお出迎えをしていませんから、宿の改善点などはこれから見つかるでしょうね。今は、訪れた方がここで素晴らしい体験や楽しい時間を過ごして帰っていただければ良いと思っています。それがきっかけでリピートしていただけたら、新しいお客さまの開拓につながれば嬉しいです。その後から新たな人とつながりが生まれれば、町興しのお役に立つのではないのでしょうか。

今後は府中の街の活性化のために、知人が運営している民宿とも連携や助け合いを重ねながら、一人でも多くのお客さまに喜んでいただけるサービスを計画し実現していきたいです。



宿の準備は万端整えています

寺やど・下り松 間取り図



寺やど・下り松 基本情報

住所	〒762-0024 坂出市府中町3597-2 専照寺
電話番号	0877-48-3483
活用した建物	自宅
営業期間	通年不定休・平日営業(要予約) チェックイン:15:00 チェックアウト:10:00
宿泊スタイル	部屋貸し
体験メニュー	農作物収穫体験、自然散策体験、タケノコ掘り体験(春期のみ)、讃岐国府遺跡体験、お寺のお勤め体験
食事	自炊を基本とします(厨房の利用は自由)。共同調理も可能です。
宿泊料	素泊まり1泊 大人1名5,000円、朝食付き 大人1名5,500円、1泊2食付き 大人1名8,800円 (小学生以下は半額) ※お支払いは、現金のみ
ホームページ	https://terayado-sagarimatu.hp.peraichi.com/

※施設の情報については、令和6年1月31日現在のものです。